福井県内企業景気動向調査　調査結果

（2021年10～12月　当期（実　績））
（2022年1～3月　次期（見通し））

株式会社　福井銀行
株式会社　福井キャピタル＆コンサルティング

【調査の目的】

福井県内企業のみなさまにアンケート調査を行うことにより、 景気動向（県内企業の現在の経営環境や今後の見通し）について情報提供いただき、共有することで、今後のみなさまの経営に少しでも役立てていただくことを目的としております。

【調査概要】

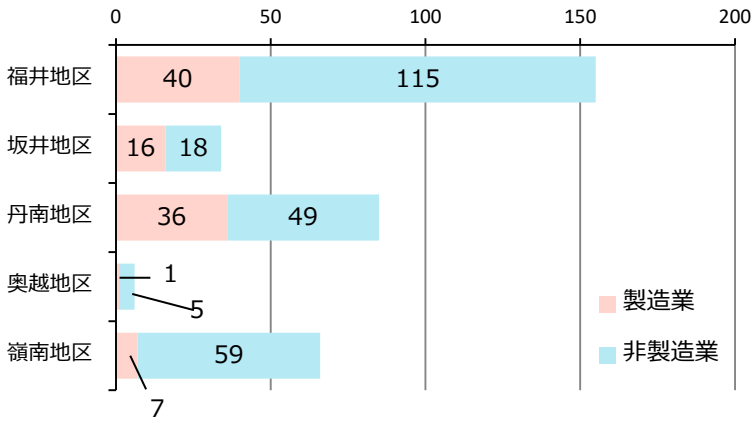
- 調査対象企業　福井県内の企業　1,353社
- 回答企業　346社（回答率25.6%）
- 調査時期　2021年12月初旬

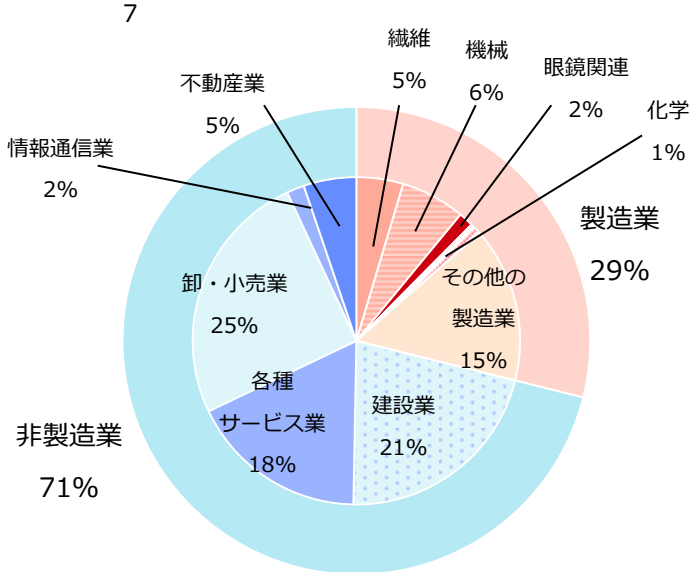
【ＤＩ調査について】

このアンケート調査では、ＤＩ(Diffusion Index)による分析を行っております。ＤＩは、「好転」と回答した企業の割合と「悪化」と回答した企業の割合との差を求めたものです。 景気が良い場合はプラス幅が大きくなり、景気が悪化している場合はマイナス幅が大きくなります。

※ 原材料価格、在庫状況については、「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合との差を求めており、上記の判断とは逆の傾向を示します。

【回答企業の概要】





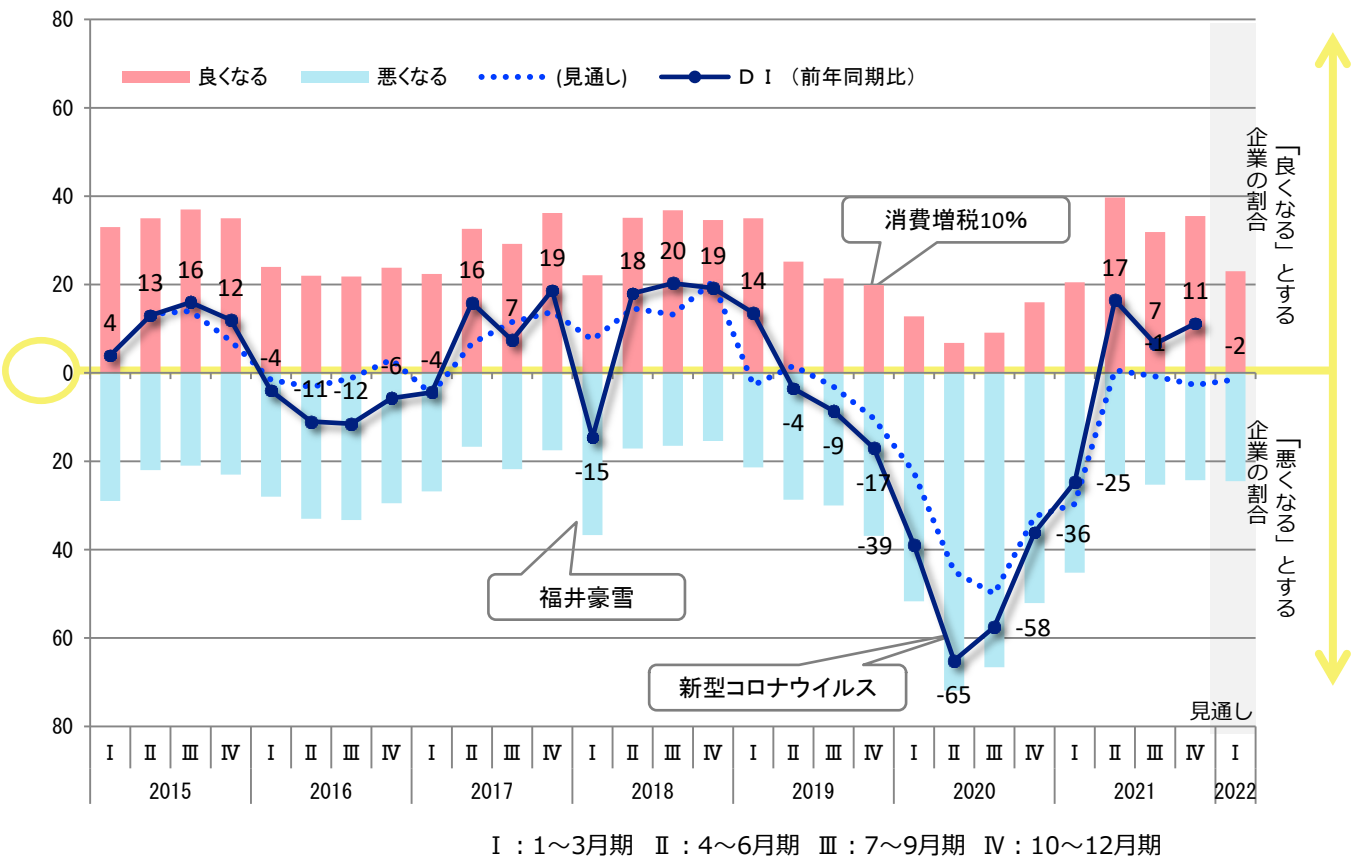
回復傾向だが、依然として品不足や、原材料の高騰とそれに伴う価格転嫁ができない傾向により、収益の圧迫が懸念される。

全体の景況判断は、世界経済の持ち直しや消費の回復傾向を背景に受注環境の改善が進み、業況判断ＤＩは前回調査のプラス7から上昇しプラス11となり、プラス幅を広げた。前回予想のマイナス3を上回った。また、来期はマイナス2を予想し、緩やかな回復傾向にあるものの先行きの見通しは不透明で、マイナス圏に転じる見通しである。

製造業、非製造業を問わず、原材料(仕入・資材)価格が高い水準で推移しているものの製(商)品販売価格はその水準に及ばない傾向となり、原材料(仕入・資材)価格の高騰を製(商)品販売価格に転嫁できていない傾向がうかがえる。
来期も原材料(仕入・資材)価格は高い水準で推移する見通しであり、価格転嫁できなければ収益を圧迫すると予想される。

個別企業のコメントでは、前回に引き続き新型コロナウィルスによる社会や経済への影響を懸念する意見や、原材料（仕入・資材）価格の高騰や品不足を懸念する意見が多く見られた。

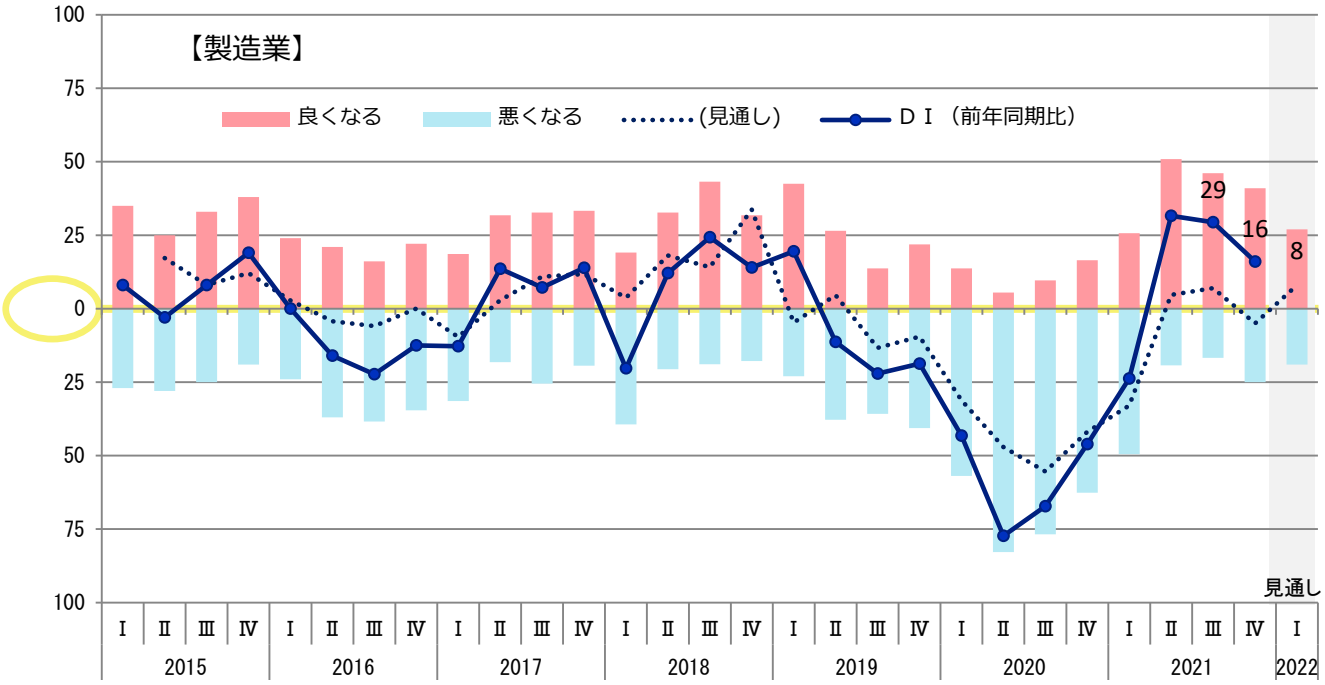
●自社の業況判断ＤＩの推移



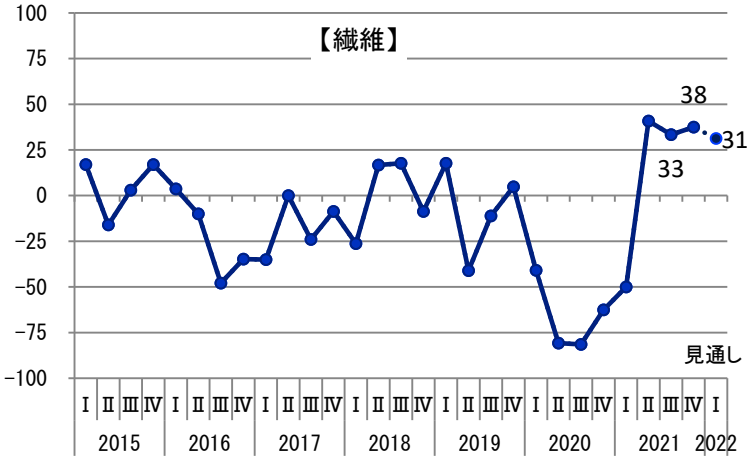
Ⅰ：1～3月期　Ⅱ：4～6月期　Ⅲ：7～9月期　Ⅳ：10～12月期

業況　【製造業】①

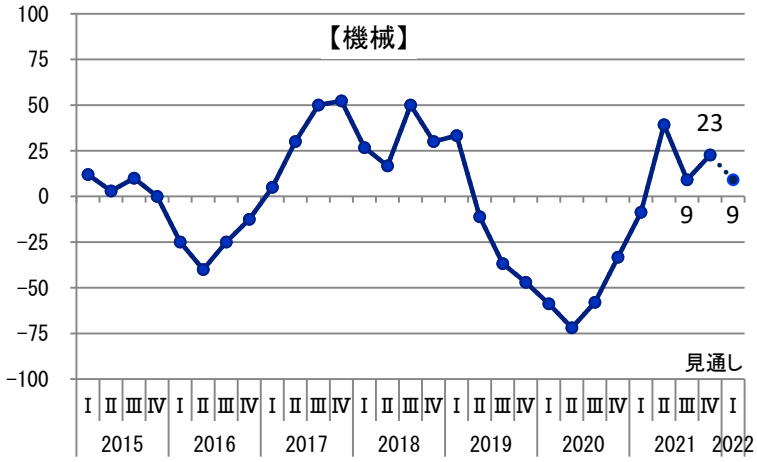
良くなる－悪くなる



- 製造業の業況判断ＤＩは、前回調査のプラス29から低下したもののプラス16となり、3四半期連続でプラス圏を維持した。
- 先行きは、低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。



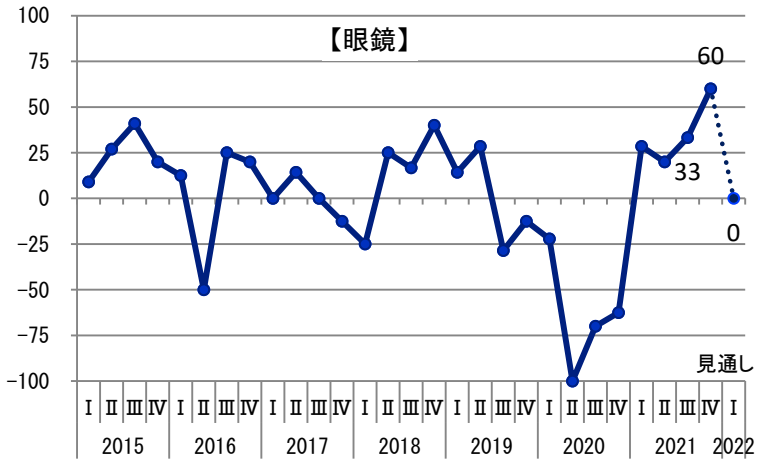
- 繊維は、前回調査のプラス33から上昇しプラス38となり、プラス幅を広げた。
- 先行きは、低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。



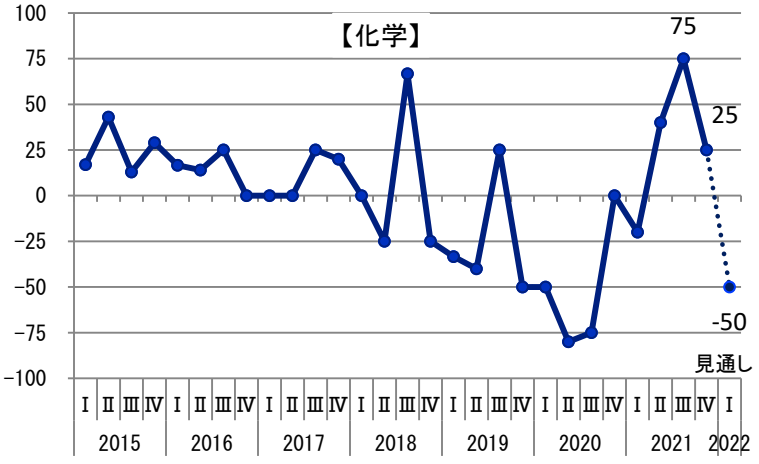
- 機械は、前回調査のプラス9から大幅に上昇しプラス23となり、プラス幅を広げた。
- 先行きは、低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

業況 【製造業】②

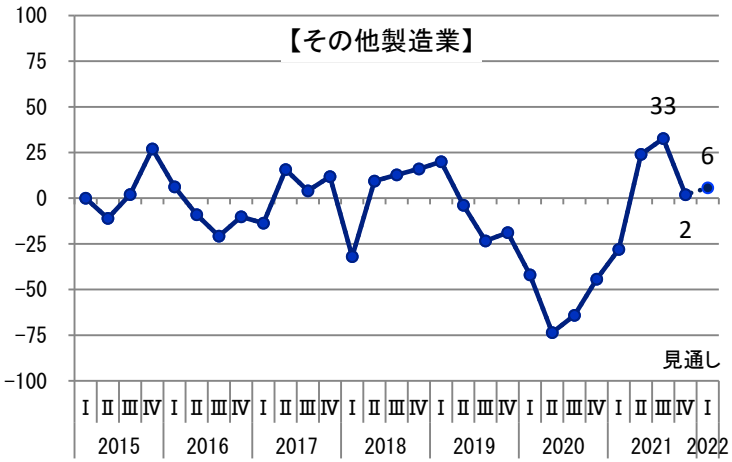
良くなる―悪くなる



- 眼鏡は、前回調査のプラス33から大幅に上昇しプラス60となり、プラス幅を広げた。
- 先行きは、大幅な低下を予想しプラスマイナス０となる見通しである。



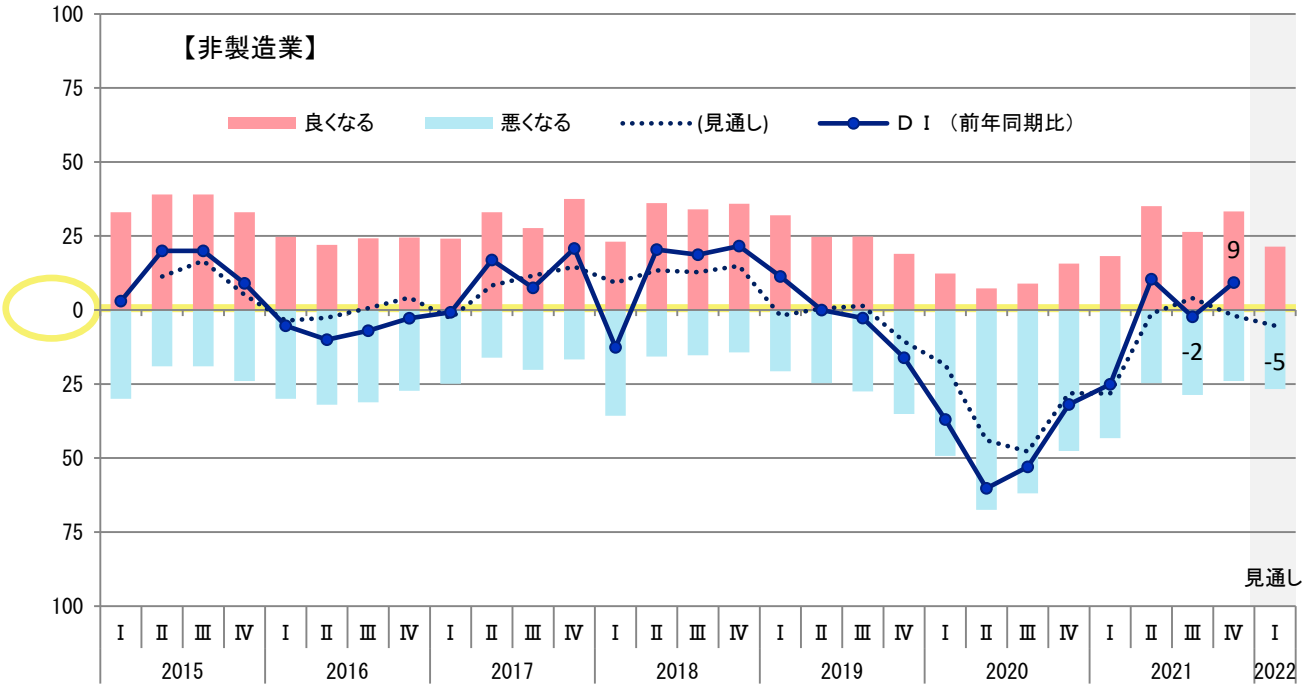
- 化学は、前回調査のプラス75から大幅に低下したもののプラス25となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



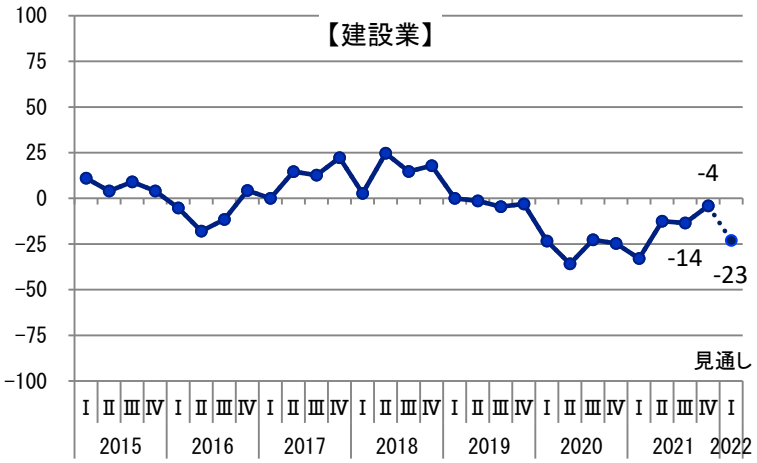
- その他製造業は、前回調査のプラス33から大幅に低下したもののプラス２となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

業況　【非製造業】①

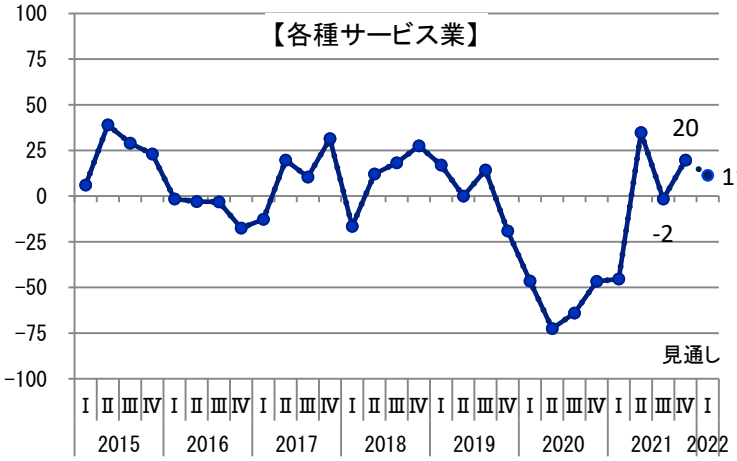
良くなる－悪くなる



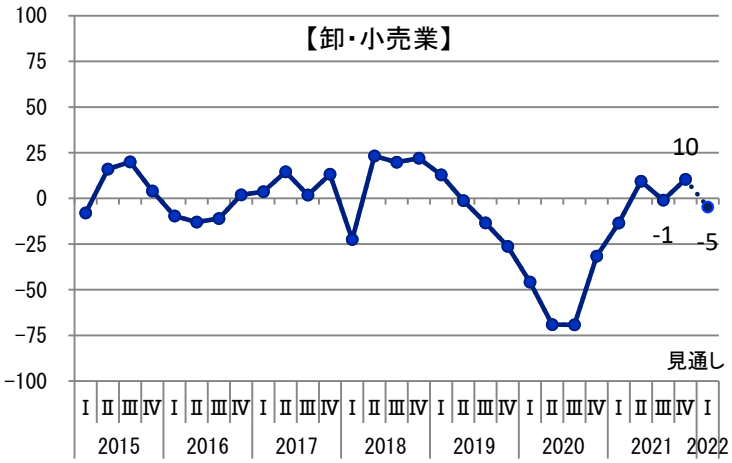
- 非製造業の業況判断ＤＩは、前回調査のマイナス２から上昇しプラス9となり、プラス圏に転じた。
- 先行きは、低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



- 建設業は、前回調査のマイナス14から上昇したもののマイナス4となり、マイナス圏に留まった。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。

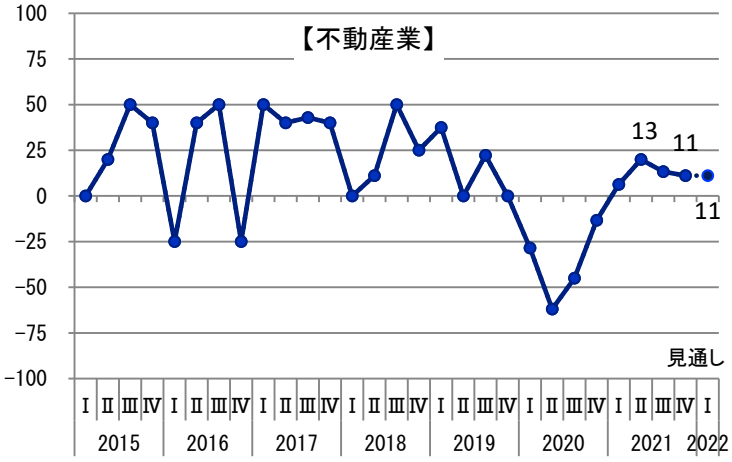


- 各種サービス業は、前回調査のマイナス2から大幅に上昇しプラス20となり、プラス圏に転じた。
- 先行きは、低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。



- 卸・小売業は、前回調査のマイナス1から上昇しプラス10となり、プラス圏に転じた。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

- 情報通信業は、前回調査のプラス50から横ばいのプラス50となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

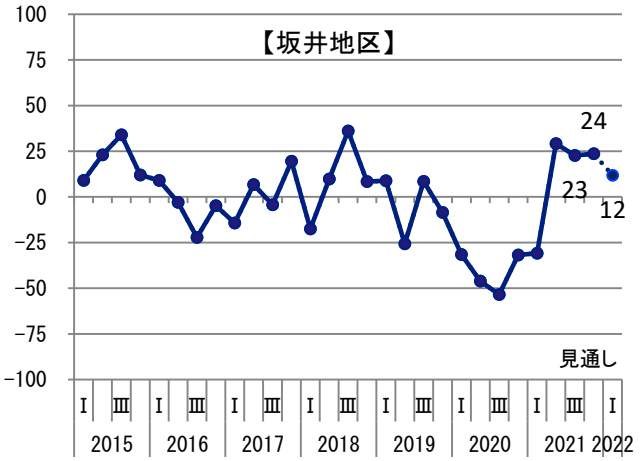


- 不動産業は、前回調査のプラス13からやや低下したもののプラス11となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。

業況 【地域】

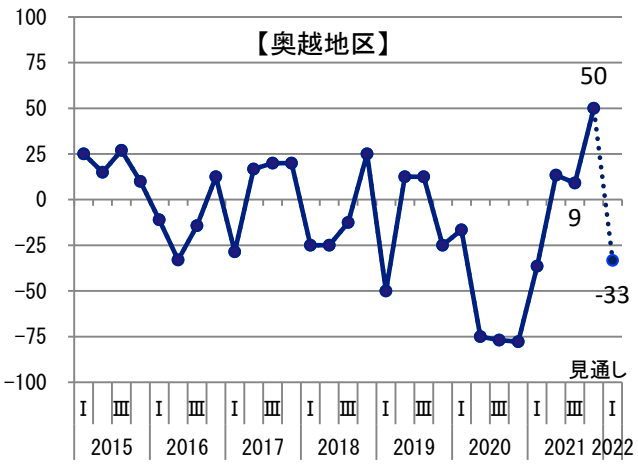
良くなる―悪くなる

- 福井地区は、前回調査のプラス8から上昇しプラス16となり、プラス幅を広げた。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



- 坂井地区は、前回調査のプラス23からほぼ横ばいのプラス24となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

- 丹南地区は、前回調査のプラス10から上昇しプラス17となり、プラス幅を広げた。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

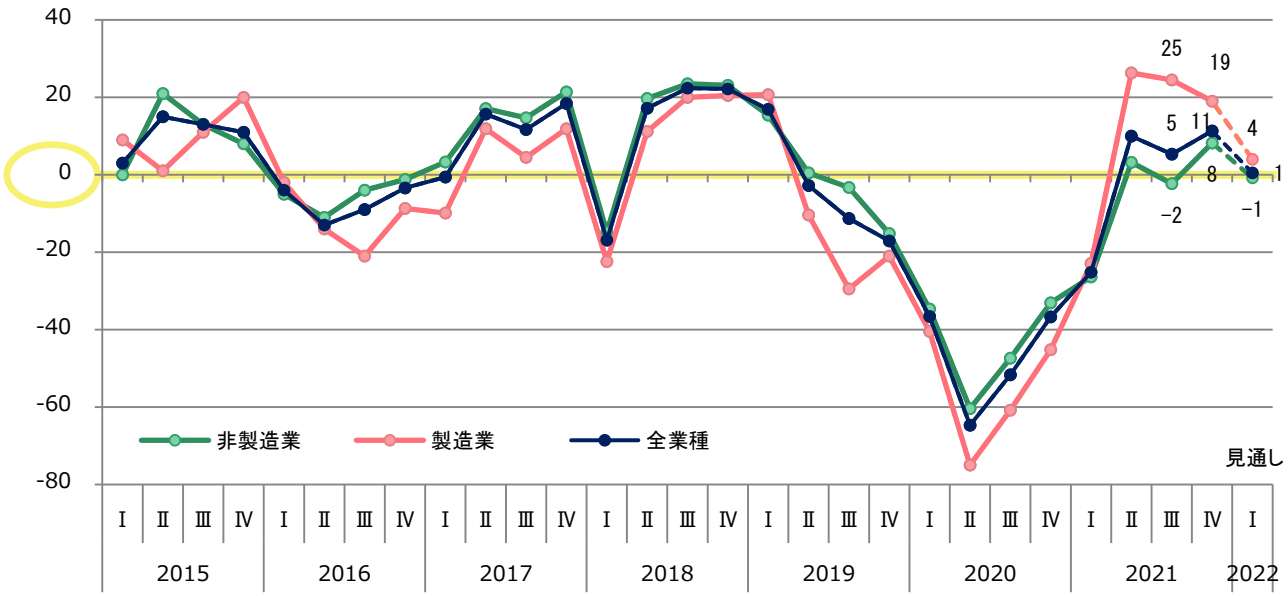


- 奥越地区は、前回調査のプラス9から大幅に上昇しプラス50となり、プラス幅を広げた。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

- 嶺南地区は、前回調査のマイナス14からほぼ横ばいのマイナス15となり、マイナス圏に留まった。
- 先行きは、上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通しである。

売上(工事)高

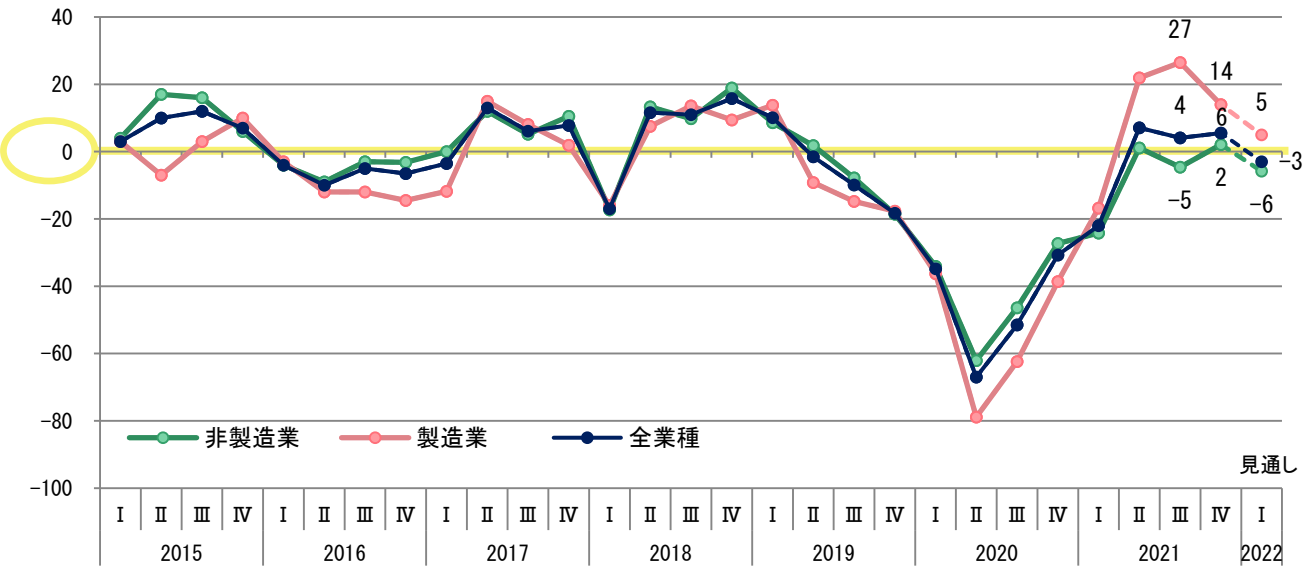
増加する―減少する



- 売上（工事）高ＤＩは、前回調査のプラス5から上昇しプラス11となり、プラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。非製造業は前回調査から上昇しプラス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。非製造業は低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

収益状況

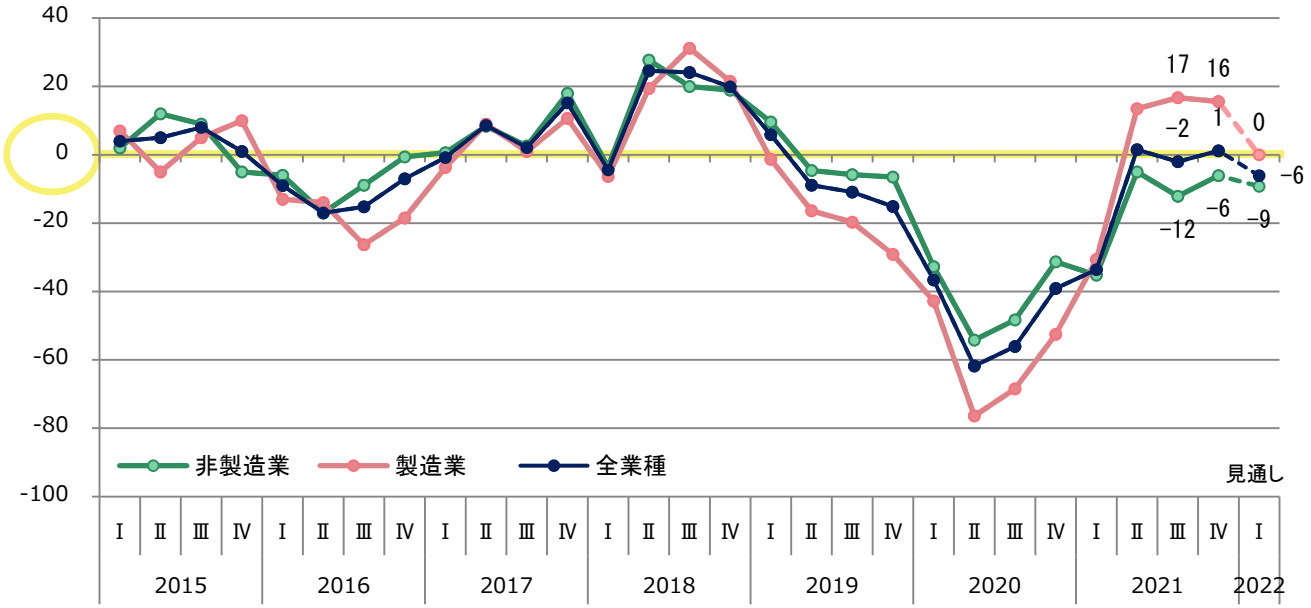
良くなる―悪くなる



- 収益状況ＤＩは、前回調査のプラス4からやや上昇しプラス6となり、プラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。非製造業は前回調査から上昇しプラス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。非製造業は低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

受注残高

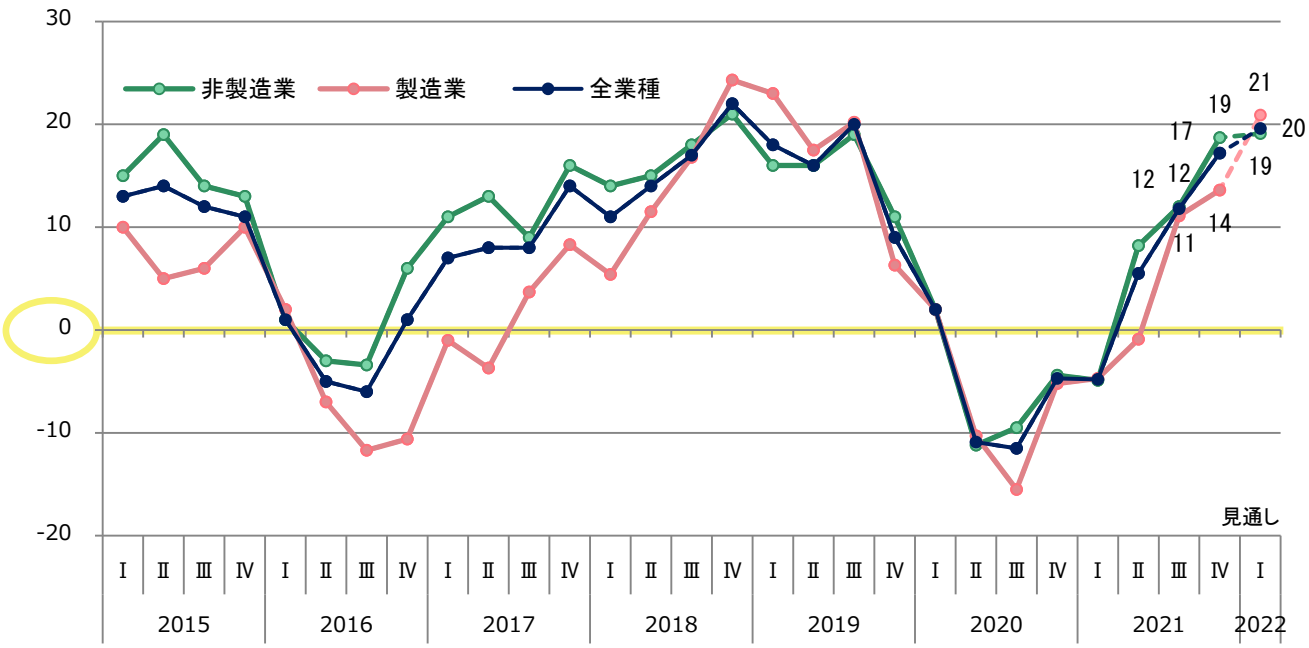
多い－少ない



- 受注残高ＤＩは、前回調査のマイナス2から上昇しプラス１となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査からほぼ横ばいとなりプラス圏を維持した。非製造業は前回調査から上昇したもののマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想しプラスマイナス０となる見通し。非製造業は低下を予想しマイナス圏に留まる見通しである。

製(商)品販売価格

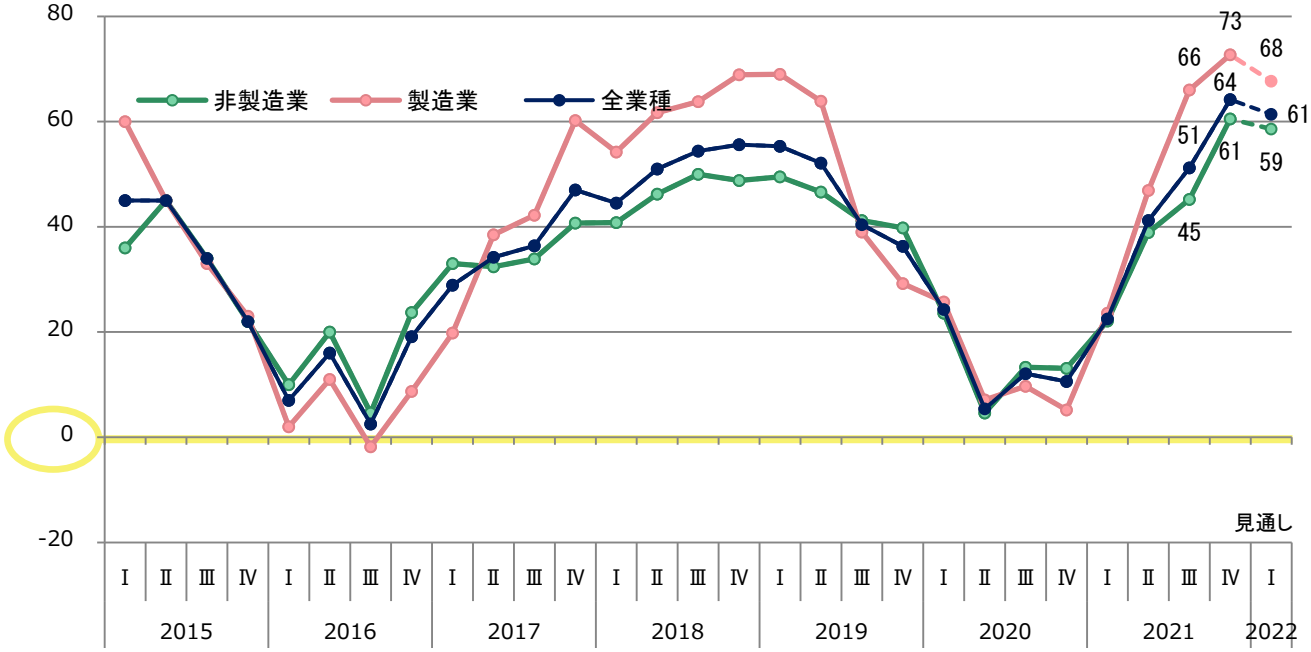
上昇－低下



- 製（商）品販売価格ＤＩは、前回調査のプラス12から上昇しプラス17となり、プラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、製造業は上昇を予想しプラス幅を広げる見通し。非製造業は横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。

原材料（仕入・資材）価格

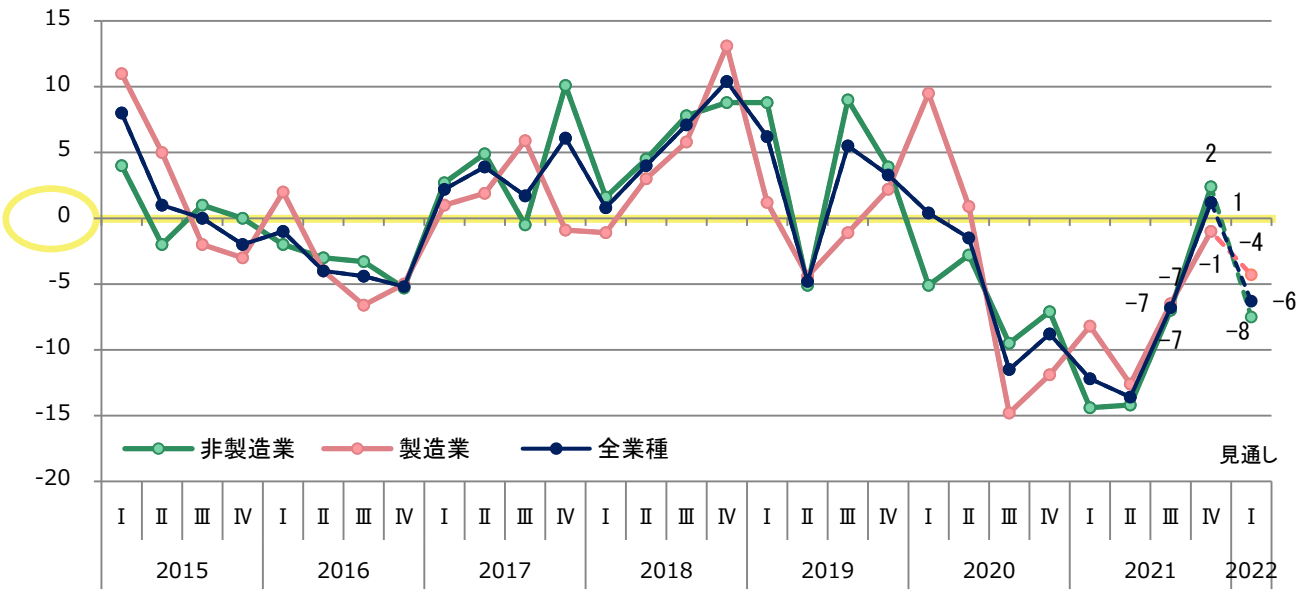
上昇ー低下



- 原材料（仕入・資材）価格ＤＩは、前回調査のプラス51から上昇しプラス64となり、依然として高い水準でプラス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業は上昇し依然として高い水準でプラス圏に留まった。非製造業は前回調査から大幅に上昇し依然として高い水準でプラス圏に留まった。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに低下を予想するものの依然として高い水準でプラス圏に留まる見通しである。

在庫

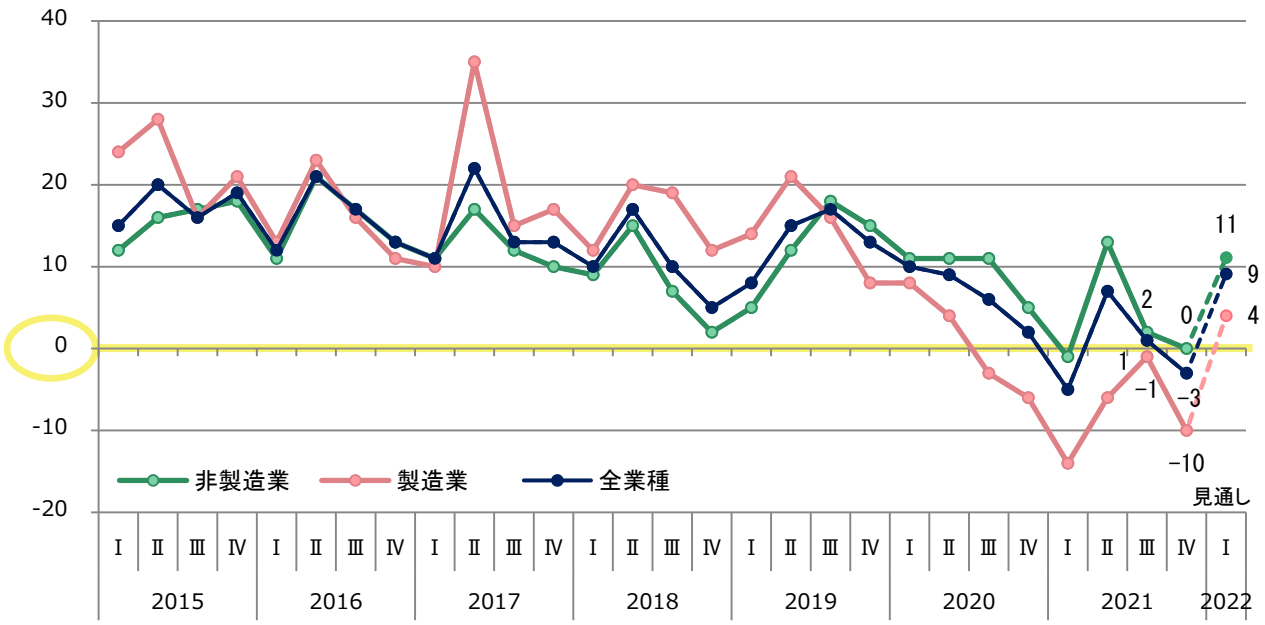
多いー少ない



- 在庫ＤＩは、前回調査のマイナス7から上昇しプラス１となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇したもののマイナス圏に留まった。非製造業は前回調査から上昇しプラス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は低下を予想しマイナス圏に留まる見通し。非製造業は低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

雇用者数

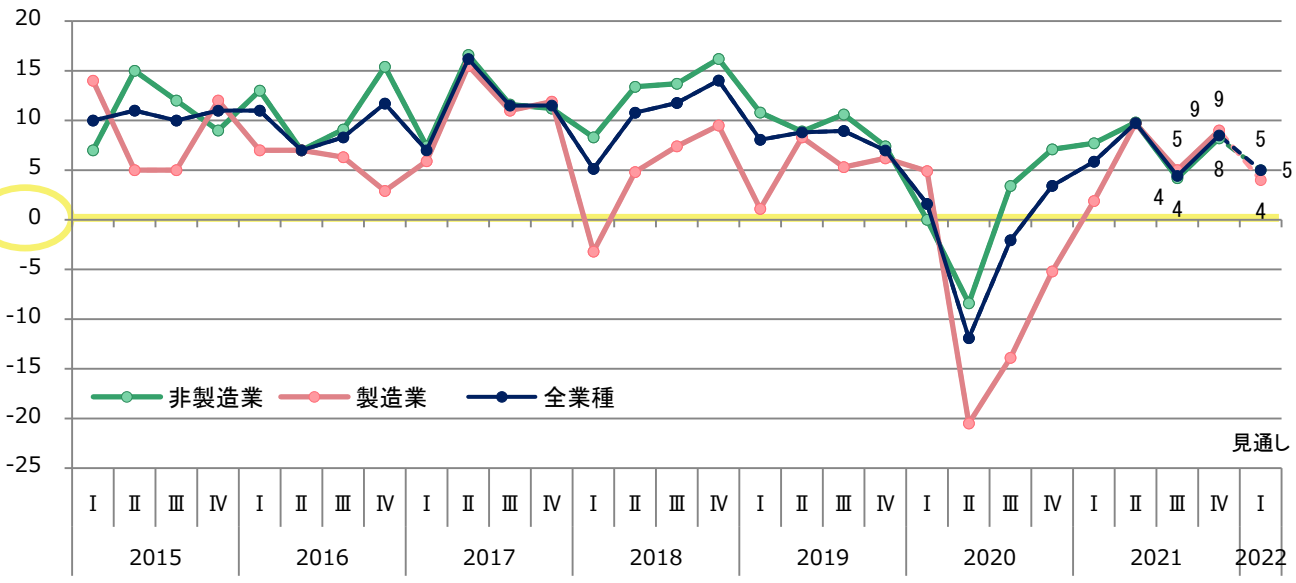
増員－減員



- 雇用者数ＤＩは、前回調査のプラス1からやや低下しマイナス3となり、マイナス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から低下しマイナス幅を広げた。非製造業は前回調査からやや低下しプラスマイナス0となった。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。

資金繰り

容易－困難



- 資金繰りＤＩは、前回調査のプラス4から上昇しプラス9となり、プラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともには前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

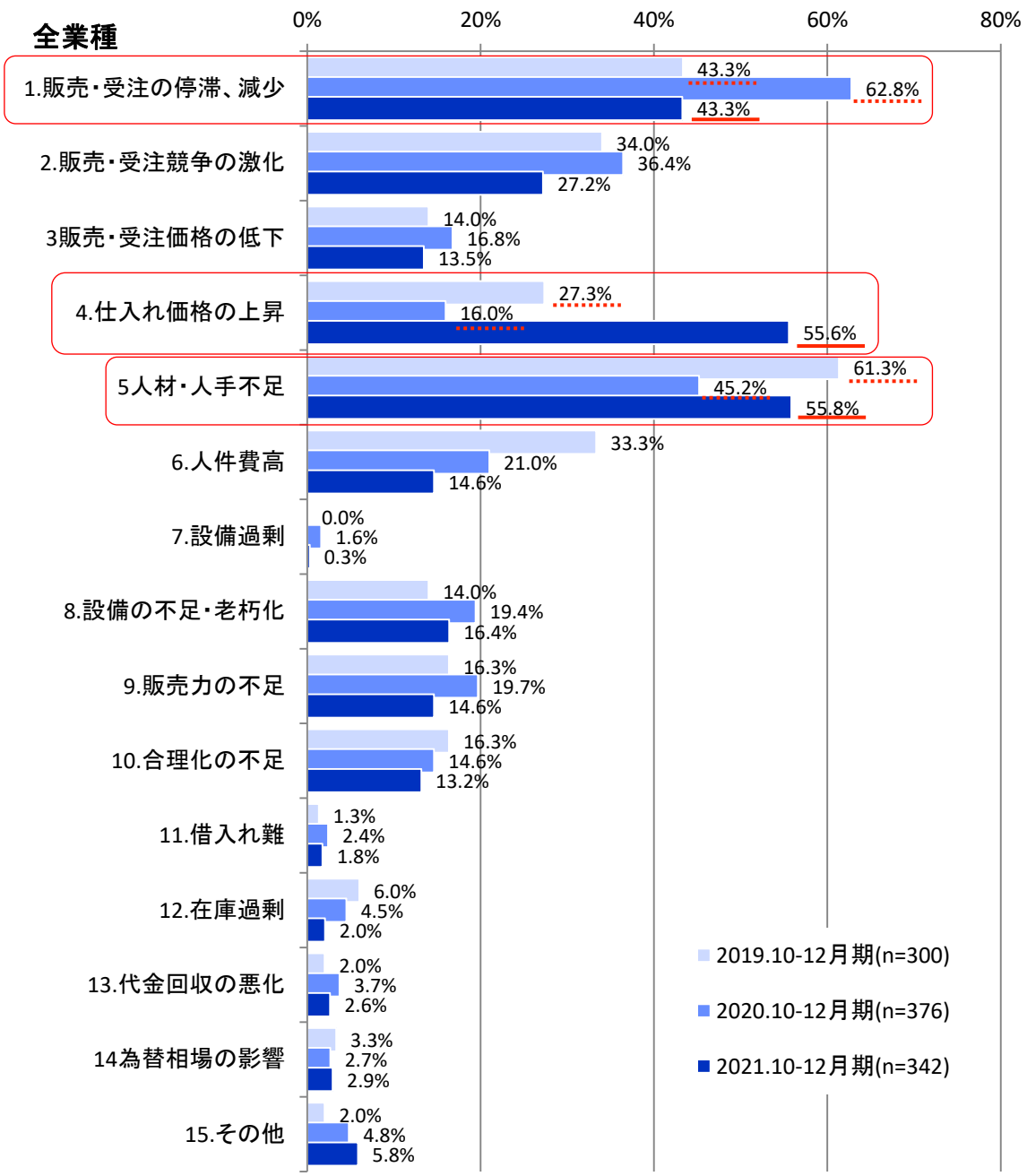
経営上の当面の問題点について ①　（複数回答）

◆全業種で「人材・人手不足」55.8%、「仕入れ価格の上昇」が55.6%と多い。

「仕入れ価格の上昇」は2019年27.3%、2020年16.0%であったのに対し、2021年では55.6%となり、例年上位にくる「人材・人手不足」と並ぶ結果となった。原油高をはじめとする原材料価格の高騰が大きな問題となっていることがうかがえる結果となった。

また、2020年では「販売・受注の停滞、減少」が62.8%と最も多かったが、2021年では43.3%と例年並みの結果に戻った。

n：有効回答数



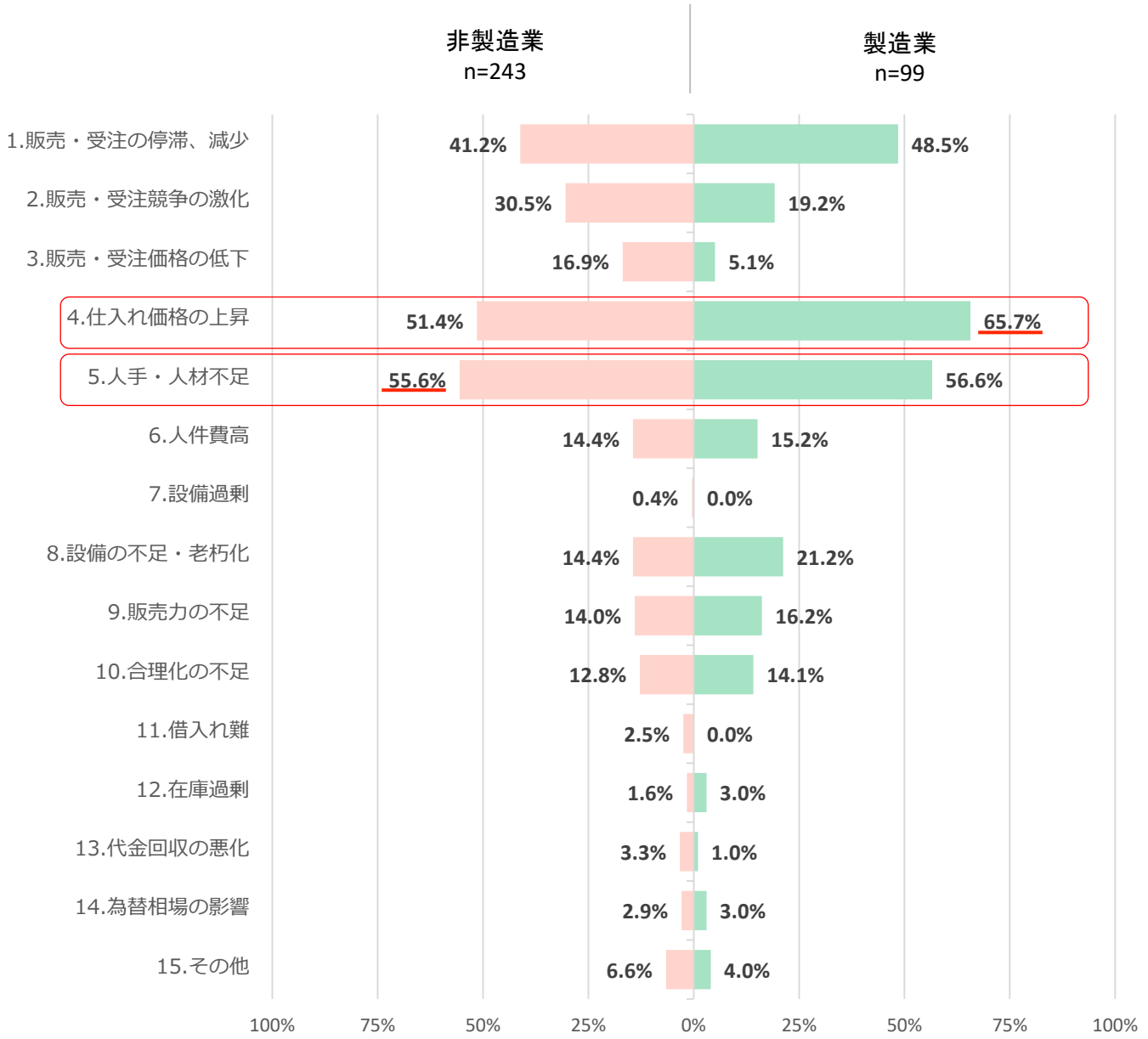
経営上の当面の問題について ②　（複数回答）

◆製造業では「仕入れ価格の上昇」、非製造業では「人材・人手不足」が最も多い。

製造業は、「仕入れ価格の上昇」が65.7%と最も多く、次いで「人手・人材不足」56.6%、「販売・受注の停滞、減少」48.5%の順に多い結果となった。

非製造業は、「人手・人材不足」が55.6%と最も多く、次いで「仕入れ価格の上昇」51.4%、「販売・受注の停滞、減少」41.2%の順に多い結果となった。

n：有効回答数



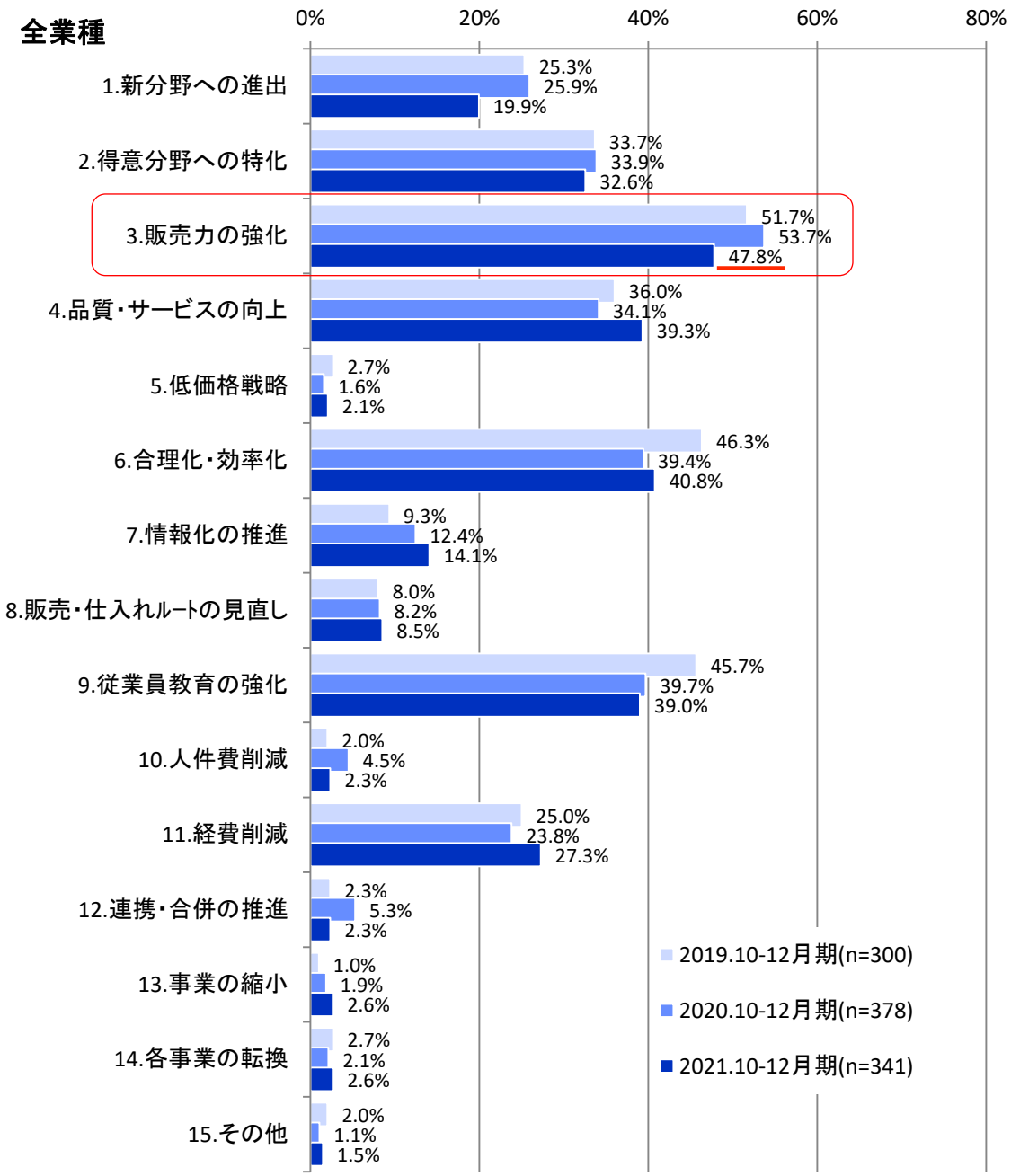
今後の経営方針について ①　（複数回答）

◆全業種で「販売力の強化」が47.8%と最も多い。

2019年、2020年と変わらず、「販売力の強化」が47.8%と最も多い結果となった。

また、「情報化の推進」が2019年9.3%、2020年12.4%に対して、2021年は14.1%と昨今のＤＸ化等の流れを受け、徐々に数字を伸ばす結果となった。

ｎ：有効回答数



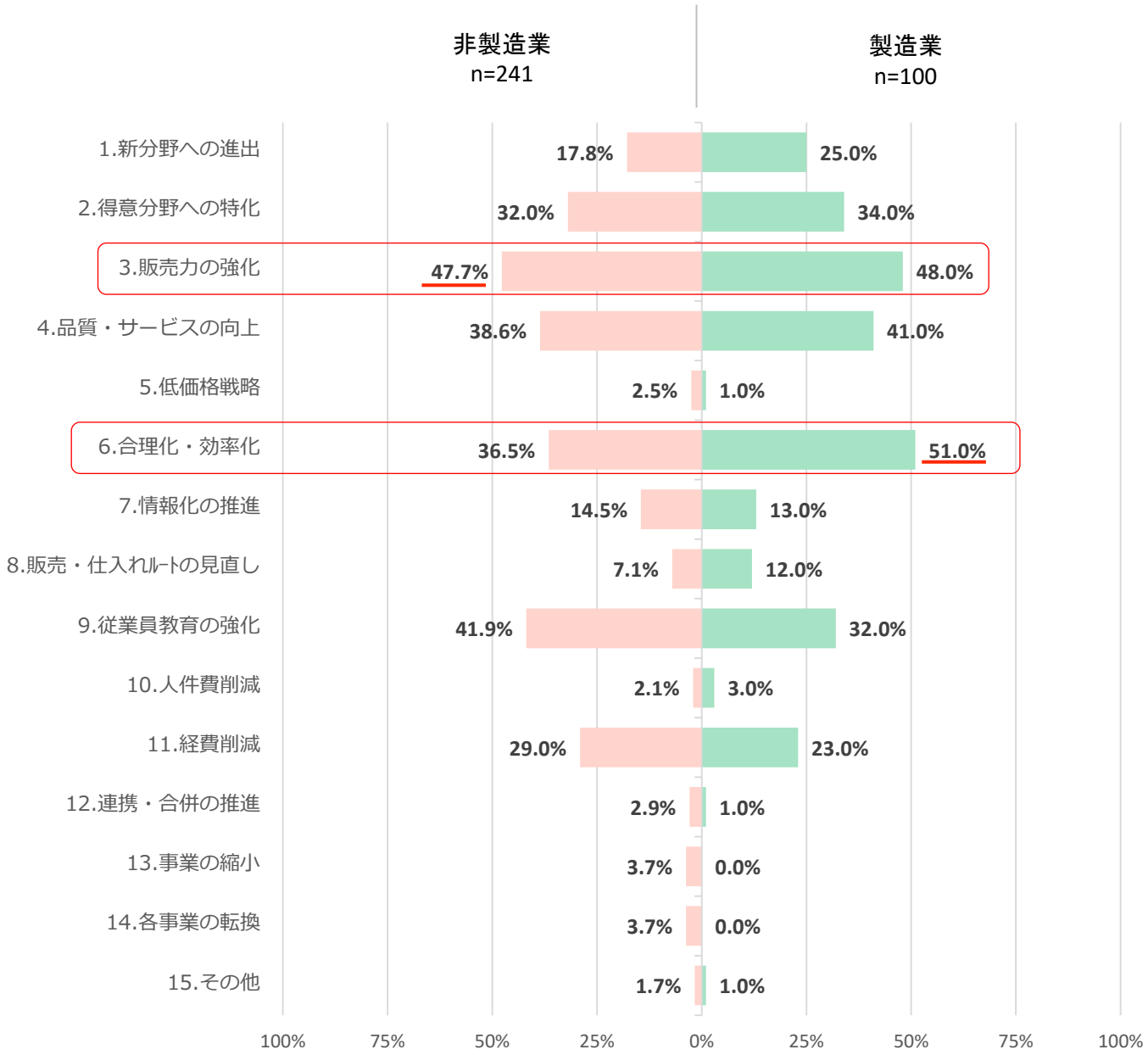
今後の経営方針について ②　（複数回答）

◆製造業では「合理化・効率化」、非製造業では「販売力の強化」が最も多い。

製造業は「合理化・効率化」51.0%、次いで「販売力の強化」48.0%、「品質・サービスの向上」41.0%の順に多い結果となった。

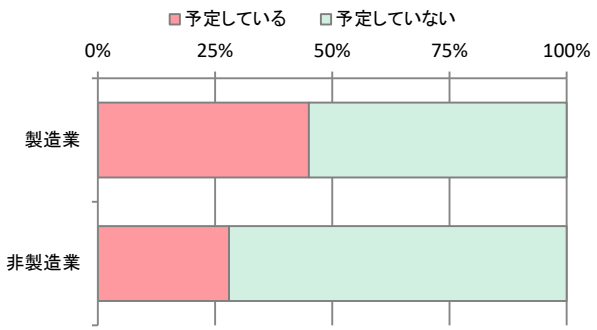
非製造業は「販売力の強化」47.7%、次いで「従業員教育の強化」41.9%、「品質・サービスの向上」38.6%の順に多い結果となった。

n：有効回答数

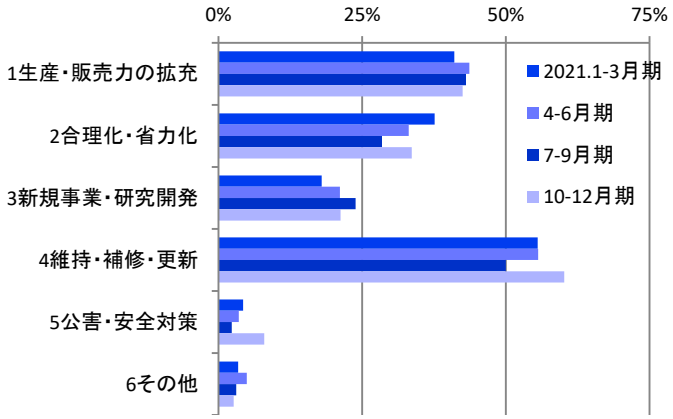


設備投資の有無

●設備投資の有無



●設備投資の目的(複数回答)



業種別分類集計①

(単位;%)

四半期別	2021年7-9月期 前期実績				2021年10-12月期 当期実績						2022年1-3月期 来期見通し				
状況 / 項目	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①−③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 前期比	D.I. ①−③	前回調査時今期見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 今期比	D.I. ①−③
業況	31.9	42.8	25.3	6.6	35.5	40.2	24.3	↑	11.2	▲ 2.7	23.0	52.5	24.5	↓	▲ 1.5
製造業	46.1	37.3	16.7	29.4	41.0	34.0	25.0	↓	16.0	▲ 5.0	27.0	54.0	19.0	↓	8.0
繊維	55.6	22.2	22.2	33.4	50.0	37.5	12.5	↑	37.5	▲ 44.4	31.3	68.8	0.0	↓	31.3
機械	31.8	45.5	22.7	9.1	40.9	40.9	18.2	↑	22.7	4.5	18.2	72.7	9.1	↓	9.1
眼鏡	50.0	33.3	16.7	33.3	80.0	0.0	20.0	↑	60.0	66.7	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
化学	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	↓	25.0	0.0	0.0	50.0	50.0	↓	▲ 50.0
その他	46.2	40.4	13.5	32.7	34.0	34.0	32.1	↓	1.9	▲ 3.8	34.0	37.7	28.3	↑	5.7
非製造業	26.4	44.9	28.7	▲ 2.3	33.3	42.7	24.0	↑	9.3	▲ 1.9	21.4	51.9	26.7	↓	▲ 5.3
建設業	17.6	51.4	31.1	▲ 13.5	21.6	52.7	25.7	↑	▲ 4.1	▲ 21.6	13.5	50.0	36.5	↓	▲ 23.0
各種サービス業	32.3	33.9	33.9	▲ 1.6	45.9	27.9	26.2	↑	19.7	6.7	26.2	59.0	14.8	↓	11.4
卸・小売業	29.2	40.6	30.2	▲ 1.0	36.8	36.8	26.4	↑	10.4	4.7	28.6	38.1	33.3	↓	▲ 4.7
情報通信業	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	→	50.0	0.0	0.0	83.3	16.7	↓	▲ 16.7
不動産業	13.3	86.7	0.0	13.3	16.7	77.8	5.6	↓	11.1	13.3	11.1	88.9	0.0	→	11.1
売上(工事)高	33.1	39.1	27.8	5.3	37.1	37.1	25.8	↑	11.3	▲ 3.8	25.4	49.7	24.9	↓	0.5
製造業	45.1	34.3	20.6	24.5	42.0	35.0	23.0	↓	19.0	▲ 2.9	25.0	54.0	21.0	↓	4.0
繊維	55.6	22.2	22.2	33.4	50.0	37.5	12.5	↑	37.5	▲ 33.3	31.3	68.8	0.0	↓	31.3
機械	31.8	40.9	27.3	4.5	36.4	45.5	18.2	↑	18.2	4.5	18.2	68.2	13.6	↓	4.6
眼鏡	50.0	16.7	33.3	16.7	80.0	0.0	20.0	↑	60.0	50.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
化学	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	↓	25.0	▲ 25.0	0.0	50.0	50.0	↓	▲ 50.0
その他	44.2	38.5	17.3	26.9	37.7	34.0	28.3	↓	9.4	0.0	30.2	39.6	30.2	↓	0.0
非製造業	28.4	41.0	30.7	▲ 2.3	35.1	38.0	26.9	↑	8.2	▲ 4.2	25.6	47.9	26.4	↓	▲ 0.8
建設業	21.6	45.9	32.4	▲ 10.8	27.0	40.5	32.4	↑	▲ 5.4	▲ 20.2	17.6	48.6	33.8	↓	▲ 16.2
各種サービス業	32.8	34.4	32.8	0.0	43.3	31.7	25.0	↑	18.3	3.3	26.7	56.7	16.7	↓	10.0
卸・小売業	31.1	34.0	35.0	▲ 3.9	36.8	34.5	28.7	↑	8.1	▲ 1.0	35.7	32.1	32.1	↓	3.6
情報通信業	37.5	62.5	0.0	37.5	50.0	33.3	16.7	↓	33.3	12.5	0.0	66.7	33.3	↓	▲ 33.3
不動産業	20.0	80.0	0.0	20.0	27.8	66.7	5.6	↑	22.2	13.3	16.7	83.3	0.0	↓	16.7
収益	30.3	43.4	26.2	4.1	31.8	41.9	26.3	↑	5.5	▲ 6.8	22.4	52.5	25.1	↓	▲ 2.7
製造業	45.1	36.3	18.6	26.5	39.0	36.0	25.0	↓	14.0	▲ 3.9	25.0	55.0	20.0	↓	5.0
繊維	55.6	22.2	22.2	33.4	62.5	25.0	12.5	↑	50.0	▲ 22.2	25.0	75.0	0.0	↓	25.0
機械	45.5	36.4	18.2	27.3	31.8	45.5	22.7	↓	9.1	0.0	18.2	59.1	22.7	↓	▲ 4.5
眼鏡	50.0	16.7	33.3	16.7	80.0	0.0	20.0	↑	60.0	66.7	20.0	80.0	0.0	↓	20.0
化学	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	↓	25.0	▲ 25.0	0.0	50.0	50.0	↓	▲ 50.0
その他	38.5	44.2	17.3	21.2	30.2	39.6	30.2	↓	0.0	▲ 5.9	30.2	45.3	24.5	↑	5.7
非製造業	24.6	46.2	29.2	▲ 4.6	28.9	44.3	26.8	↑	2.1	▲ 7.9	21.4	51.4	27.2	↓	▲ 5.8
建設業	16.2	54.1	29.7	▲ 13.5	25.7	41.9	32.4	↑	▲ 6.7	▲ 28.4	12.2	51.4	36.5	↓	▲ 24.3
各種サービス業	29.0	37.1	33.9	▲ 4.9	34.4	41.0	24.6	↑	9.8	▲ 4.9	24.6	59.0	16.4	↓	8.2
卸・小売業	28.6	40.0	31.4	▲ 2.8	27.6	42.5	29.9	↑	▲ 2.3	0.9	31.0	36.9	32.1	↑	▲ 1.1
情報通信業	37.5	50.0	12.5	25.0	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	25.0	0.0	83.3	16.7	↓	▲ 16.7
不動産業	13.3	86.7	0.0	13.3	22.2	72.2	5.6	↑	16.6	0.0	11.1	83.3	5.6	↓	5.5
受注残高	25.1	47.8	27.1	▲ 2.0	26.8	47.6	25.6	↑	1.2	▲ 9.8	18.8	56.3	24.9	↓	▲ 6.1
製造業	35.6	45.6	18.9	16.7	33.7	48.2	18.1	↓	15.6	▲ 3.3	22.9	54.2	22.9	↓	0.0
繊維	44.4	33.3	22.2	22.2	41.7	50.0	8.3	↑	33.4	▲ 38.9	25.0	66.7	8.3	↓	16.7
機械	33.3	52.4	14.3	19.0	42.1	42.1	15.8	↑	26.3	9.5	26.3	52.6	21.1	↓	5.2
眼鏡	50.0	33.3	16.7	33.3	60.0	40.0	0.0	↑	60.0	66.7	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
化学	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	50.0	25.0	↓	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	↓	▲ 50.0
その他	30.2	48.8	20.9	9.3	25.6	51.2	23.3	↓	2.3	▲ 4.6	25.6	46.5	27.9	↓	▲ 2.3
非製造業	19.4	49.1	31.5	▲ 12.1	23.3	47.2	29.4	↑	▲ 6.1	▲ 13.3	16.7	57.4	25.9	↓	▲ 9.2
建設業	16.2	51.5	32.4	▲ 16.2	20.8	45.8	33.3	↑	▲ 12.5	▲ 25.0	16.7	55.6	27.8	↑	▲ 11.1
各種サービス業	23.3	53.3	23.3	0.0	16.7	58.3	25.0	↓	▲ 8.3	▲ 6.7	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0
卸・小売業	22.4	37.9	39.7	▲ 17.3	28.6	41.1	30.4	↑	▲ 1.8	▲ 6.9	25.5	45.5	29.1	↓	▲ 3.6
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	↑	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
不動産業	16.7	83.3	0.0	16.7	11.1	77.8	11.1	↓	0.0	16.7	11.1	88.9	0.0	↑	11.1

業種別分類集計②

（単位：%）

四半期別	2021年7-9月期 前期実績				2021年10-12月期 当期実績						2022年1-3月期 来期見通し				
状況 / 項目	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①－③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 前期比	D.I. ①－③	前回調査時今期見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 今期比	D.I. ①－③
製(商)品販売価格	20.1	71.7	8.3	11.8	25.9	65.4	8.7	↑	17.2	11.2	27.1	65.4	7.5	↑	19.6
製造業	18.2	74.7	7.1	11.1	21.9	69.8	8.3	↑	13.6	10.2	29.2	62.5	8.3	↑	20.9
繊維	5.6	94.4	0.0	5.6	6.3	93.8	0.0	↑	6.3	5.6	18.8	81.3	0.0	↑	18.8
機械	19.0	66.7	14.3	4.7	19.0	71.4	9.5	↑	9.5	10.0	23.8	61.9	14.3	→	9.5
眼鏡	0.0	83.3	16.7	▲ 16.7	40.0	40.0	20.0	↑	20.0	▲ 16.7	40.0	40.0	20.0	→	20.0
化学	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	↓	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0
その他	20.0	74.0	6.0	14.0	24.0	68.0	8.0	↑	16.0	16.0	36.0	58.0	6.0	↑	30.0
非製造業	20.8	70.4	8.8	12.0	27.6	63.6	8.9	↑	18.7	11.6	26.2	66.7	7.1	↑	19.1
建設業	21.9	71.9	6.3	15.6	35.3	51.5	13.2	↑	22.1	15.6	32.4	54.4	13.2	↓	19.2
各種サービス業	5.8	86.5	7.7	▲ 1.9	14.0	84.0	2.0	↑	12.0	▲ 5.8	10.0	86.0	4.0	↓	6.0
卸・小売業	30.5	57.1	12.4	18.1	34.9	54.7	10.5	↑	24.4	19.0	36.0	58.1	5.8	↑	30.2
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	7.7	92.3	0.0	7.7	6.3	87.5	6.3	↓	0.0	7.7	6.3	93.8	0.0	↑	6.3
原材料(仕入・資材)価格	54.0	43.2	2.8	51.2	65.7	32.7	1.5	↑	64.2	41.4	62.0	37.4	0.6	↓	61.4
製造業	68.0	30.0	2.0	66.0	72.7	27.3	0.0	↑	72.7	58.0	68.7	30.3	1.0	↓	67.7
繊維	55.6	44.4	0.0	55.6	56.3	43.8	0.0	↑	56.3	44.4	56.3	43.8	0.0	→	56.3
機械	75.0	25.0	0.0	75.0	81.0	19.0	0.0	↑	81.0	70.0	76.2	23.8	0.0	↓	76.2
眼鏡	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	↑	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	→	100.0
化学	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	→	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	→	100.0
その他	69.2	26.9	3.8	65.4	69.8	30.2	0.0	↑	69.8	55.7	64.2	34.0	1.9	↓	62.3
非製造業	48.4	48.4	3.2	45.2	62.7	35.1	2.2	↑	60.5	34.9	59.0	40.5	0.4	↓	58.6
建設業	60.3	38.4	1.4	58.9	79.5	20.5	0.0	↑	79.5	49.3	72.6	27.4	0.0	↓	72.6
各種サービス業	42.9	55.4	1.8	41.1	61.5	38.5	0.0	↑	61.5	21.5	55.8	44.2	0.0	↓	55.8
卸・小売業	49.0	45.2	5.8	43.2	57.6	36.5	5.9	↑	51.7	35.5	54.8	44.0	1.2	↑	53.6
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	↑	20.0
不動産業	23.1	76.9	0.0	23.1	30.8	69.2	0.0	↑	30.8	23.1	38.5	61.5	0.0	↑	38.5
在庫	16.5	60.2	23.3	▲ 6.8	16.9	67.5	15.7	↑	1.2	▲ 7.2	9.8	74.0	16.1	↓	▲ 6.3
製造業	20.4	52.7	26.9	▲ 6.5	19.4	60.2	20.4	↑	▲ 1.0	▲ 8.6	9.7	76.3	14.0	↓	▲ 4.3
繊維	22.2	44.4	33.3	▲ 11.1	18.8	50.0	31.3	↓	▲ 12.5	▲ 5.6	12.5	75.0	12.5	↑	0.0
機械	23.5	64.7	11.8	11.7	33.3	61.1	5.6	↑	27.7	▲ 5.8	11.1	77.8	11.1	↓	0.0
眼鏡	0.0	83.3	16.7	▲ 16.7	0.0	50.0	50.0	↓	▲ 50.0	0.0	0.0	75.0	25.0	↑	▲ 25.0
化学	25.0	0.0	75.0	▲ 50.0	25.0	25.0	50.0	↑	▲ 25.0	25.0	0.0	50.0	50.0	↓	▲ 50.0
その他	20.8	52.1	27.1	▲ 6.3	15.7	66.7	17.6	↑	▲ 1.9	▲ 14.6	9.8	78.4	11.8	↓	▲ 2.0
非製造業	14.5	64.0	21.5	▲ 7.0	15.4	71.6	13.0	↑	2.4	▲ 6.4	9.9	72.7	17.4	↓	▲ 7.5
建設業	6.5	80.4	13.0	▲ 6.5	13.0	76.1	10.9	↑	2.1	▲ 8.7	10.9	69.6	19.6	↓	▲ 8.7
各種サービス業	22.7	63.6	13.6	9.1	10.0	80.0	10.0	↓	0.0	0.0	0.0	95.0	5.0	↓	▲ 5.0
卸・小売業	17.5	53.4	29.1	▲ 11.6	18.8	67.1	14.1	↑	4.7	▲ 9.7	11.9	67.9	20.2	↓	▲ 8.3
情報通信業	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	0.0	50.0	50.0	↓	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	→	▲ 50.0
不動産業	10.0	90.0	0.0	10.0	11.1	77.8	11.1	↓	0.0	20.0	11.1	88.9	0.0	↑	11.1
雇用者	20.1	60.6	19.3	0.8	18.1	61.2	20.7	↓	▲ 2.6	10.2	14.9	79.3	5.8	↑	9.1
製造業	21.8	55.4	22.8	▲ 1.0	18.2	53.5	28.3	↓	▲ 10.1	13.9	13.1	77.8	9.1	↑	4.0
繊維	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2	0.0	62.5	37.5	↓	▲ 37.5	5.5	6.3	87.5	6.3	↑	0.0
機械	27.3	54.5	18.2	9.1	27.3	45.5	27.3	↓	0.0	22.7	18.2	77.3	4.5	↑	13.7
眼鏡	33.3	50.0	16.7	16.6	25.0	75.0	0.0	↑	25.0	33.3	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
化学	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	→	▲ 25.0
その他	19.6	56.9	23.5	▲ 3.9	20.8	50.9	28.3	↓	▲ 7.5	11.8	15.1	73.6	11.3	↑	3.8
非製造業	19.5	62.6	17.9	1.6	18.0	64.3	17.6	↓	0.4	8.8	15.6	79.9	4.5	↑	11.1
建設業	23.3	60.3	16.4	6.9	24.3	59.5	16.2	↑	8.1	16.4	13.5	85.1	1.4	↑	12.1
各種サービス業	21.0	58.1	21.0	0.0	14.8	63.9	21.3	↓	▲ 6.5	11.5	18.3	75.0	6.7	↑	11.6
卸・小売業	15.2	64.8	20.0	▲ 4.8	14.0	67.4	18.6	↑	▲ 4.6	1.0	14.9	78.2	6.9	↑	8.0
情報通信業	42.9	42.9	14.3	28.6	40.0	40.0	20.0	↓	20.0	0.0	20.0	80.0	0.0	→	20.0
不動産業	13.3	86.7	0.0	13.3	16.7	77.8	5.6	↓	11.1	20.0	16.7	83.3	0.0	↑	16.7
資金繰り	12.1	80.2	7.7	4.4	15.7	77.1	7.2	↑	8.5	0.3	12.5	79.7	7.8	↓	4.7
製造業	11.9	81.2	6.9	5.0	18.0	73.0	9.0	↑	9.0	▲ 1.0	12.0	80.0	8.0	↓	4.0
繊維	33.3	50.0	16.7	16.6	25.0	75.0	0.0	↑	25.0	▲ 11.1	18.8	81.3	0.0	↓	18.8
機械	9.1	90.9	0.0	9.1	13.6	77.3	9.1	↓	4.5	▲ 9.1	9.1	77.3	13.6	↓	▲ 4.5
眼鏡	0.0	100.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	↑	40.0	0.0	40.0	60.0	0.0	→	40.0
化学	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	→	▲ 25.0
その他	7.8	84.3	7.8	0.0	17.0	71.7	11.3	↑	5.7	5.9	9.4	83.0	7.5	↓	1.9
非製造業	12.2	79.8	8.0	4.2	14.7	78.8	6.5	↑	8.2	0.8	12.7	79.5	7.8	↓	4.9
建設業	15.1	79.5	5.5	9.6	20.3	73.0	6.8	↑	13.5	0.0	18.9	71.6	9.5	↓	9.4
各種サービス業	19.4	74.2	6.5	12.9	19.7	72.1	8.2	↓	11.5	13.3	14.8	77.0	8.2	↓	6.6
卸・小売業	7.6	81.0	11.4	▲ 3.8	8.0	85.1	6.9	↑	1.1	▲ 6.6	8.1	83.7	8.1	↓	0.0
情報通信業	14.3	71.4	14.3	0.0	40.0	60.0	0.0	↑	40.0	14.3	20.0	80.0	0.0	↓	20.0
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0

地域別分類集計

（単位：%）

四半期別	2021年7-9月期 前期実績				2021年10-12月期 今期実績						2022年1-3月期 来期見通し				
状況 / 項目	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①－③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 前期比	D.I. ①－③	前回調査時今期見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 今期比	D.I. ①－③
業況	31.9	42.8	25.3	6.6	35.5	40.2	24.3	↑	11.2	▲ 2.7	23.0	52.5	24.5	↓	▲ 1.5
福井地区	33.5	41.3	25.1	8.4	36.8	41.9	21.3	↑	15.5	▲ 7.2	21.9	54.2	23.9	↓	▲ 2.0
坂井地区	40.9	40.9	18.2	22.7	41.2	41.2	17.6	↑	23.6	▲ 4.6	26.5	58.8	14.7	↓	11.8
丹南地区	34.6	40.7	24.7	9.9	40.0	36.5	23.5	↑	16.5	11.1	22.6	53.6	23.8	↓	▲ 1.2
奥越地区	36.4	36.4	27.3	9.1	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	▲ 9.1	0.0	66.7	33.3	↓	▲ 33.3
嶺南地区	17.2	51.6	31.3	▲ 14.1	22.7	39.4	37.9	↓	▲ 15.2	▲ 6.3	26.6	42.2	31.3	↑	▲ 4.7
売上（工事）高	33.1	39.1	27.8	5.3	37.1	37.1	25.8	↑	11.3	▲ 3.8	25.4	49.7	24.9	↓	0.5
福井地区	35.2	37.6	27.3	7.9	38.3	37.7	24.0	↑	14.3	▲ 11.5	22.1	51.9	26.0	↓	▲ 3.9
坂井地区	34.9	46.5	18.6	16.3	44.1	38.2	17.6	↑	26.5	2.3	23.5	61.8	14.7	↓	8.8
丹南地区	33.8	37.5	28.8	5.0	42.4	32.9	24.7	↑	17.7	6.3	27.4	48.8	23.8	↓	3.6
奥越地区	27.3	45.5	27.3	0.0	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	▲ 9.1	0.0	66.7	33.3	↓	▲ 33.3
嶺南地区	26.6	39.1	34.4	▲ 7.8	22.7	39.4	37.9	↓	▲ 15.2	0.0	34.4	37.5	28.1	↑	6.3
収益	30.3	43.4	26.2	4.1	31.8	41.9	26.3	↑	5.5	▲ 6.8	22.4	52.5	25.1	↓	▲ 2.7
福井地区	31.3	44.6	24.1	7.2	34.8	41.3	23.9	↑	10.9	▲ 13.8	20.6	55.5	23.9	↓	▲ 3.3
坂井地区	34.1	43.2	22.7	11.4	38.2	41.2	20.6	↑	17.6	0.0	20.6	64.7	14.7	↓	5.9
丹南地区	38.3	34.6	27.2	11.1	35.3	37.6	27.1	↓	8.2	3.8	25.0	48.8	26.2	↓	▲ 1.2
奥越地区	27.3	54.5	18.2	9.1	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	▲ 9.1	0.0	66.7	33.3	↓	▲ 33.3
嶺南地区	15.6	50.0	34.4	▲ 18.8	15.2	48.5	36.4	↓	▲ 21.2	▲ 6.2	26.6	42.2	31.3	↑	▲ 4.7
受注残高	25.1	47.8	27.1	▲ 2.0	26.8	47.6	25.6	↑	1.2	▲ 9.8	18.8	56.3	24.9	↓	▲ 6.1
福井地区	25.0	49.1	25.9	▲ 0.9	30.6	46.3	23.1	↑	7.5	▲ 16.6	18.5	55.6	25.9	↓	▲ 7.4
坂井地区	31.0	51.7	17.2	13.8	31.8	54.5	13.6	↑	18.2	0.0	18.2	68.2	13.6	↓	4.6
丹南地区	30.3	42.4	27.3	3.0	27.7	50.8	21.5	↑	6.2	▲ 4.6	18.8	64.1	17.2	↓	1.6
奥越地区	25.0	62.5	12.5	12.5	25.0	75.0	0.0	↑	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
嶺南地区	13.6	47.7	38.6	▲ 25.0	14.9	40.4	44.7	↓	▲ 29.8	▲ 9.1	21.3	38.3	40.4	↑	▲ 19.1
製（商）品販売価格	20.1	71.7	8.3	11.8	25.9	65.4	8.7	↑	17.2	11.2	27.1	65.4	7.5	↑	19.6
福井地区	23.4	68.2	8.4	15.0	26.1	64.1	9.9	↑	16.2	16.2	27.5	64.1	8.5	↑	19.0
坂井地区	12.8	76.9	10.3	2.5	12.9	83.9	3.2	↑	9.7	2.6	9.7	83.9	6.5	↓	3.2
丹南地区	20.8	72.7	6.5	14.3	35.0	55.0	10.0	↑	25.0	10.4	35.0	57.5	7.5	↑	27.5
奥越地区	11.1	88.9	0.0	11.1	33.3	66.7	0.0	↑	33.3	0.0	16.7	66.7	16.7	↓	0.0
嶺南地区	16.7	73.3	10.0	6.7	19.4	72.6	8.1	↑	11.3	6.6	25.8	69.4	4.8	↑	21.0
原材料（仕入・資材）価格	54.0	43.2	2.8	51.2	65.7	32.7	1.5	↑	64.2	41.4	62.0	37.4	0.6	↓	61.4
福井地区	53.5	42.8	3.8	49.7	63.6	35.0	1.4	↑	62.2	46.5	63.6	36.4	0.0	↑	63.6
坂井地区	52.5	47.5	0.0	52.5	45.2	54.8	0.0	↓	45.2	40.0	48.4	51.6	0.0	↑	48.4
丹南地区	58.8	40.0	1.3	57.5	79.8	19.0	1.2	↑	78.6	40.0	64.3	34.5	1.2	↓	63.1
奥越地区	54.5	45.5	0.0	54.5	50.0	50.0	0.0	↓	50.0	18.2	33.3	66.7	0.0	↓	33.3
嶺南地区	50.0	45.2	4.8	45.2	63.5	33.3	3.2	↑	60.3	35.5	64.5	33.9	1.6	↑	62.9
在庫	16.5	60.2	23.3	▲ 6.8	16.9	67.5	15.7	↑	1.2	▲ 7.2	9.8	74.0	16.1	↓	▲ 6.3
福井地区	17.3	56.7	26.0	▲ 8.7	21.2	64.6	14.2	↑	7.0	▲ 9.5	11.5	73.5	15.0	↓	▲ 3.5
坂井地区	31.0	51.7	17.2	13.8	30.4	56.5	13.0	↑	17.4	▲ 3.5	17.4	69.6	13.0	↓	4.4
丹南地区	11.8	61.8	26.5	▲ 14.7	11.4	70.0	18.6	↑	▲ 7.2	▲ 7.3	5.8	78.3	15.9	↓	▲ 10.1
奥越地区	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
嶺南地区	14.6	66.7	18.8	▲ 4.2	8.7	73.9	17.4	↓	▲ 8.7	▲ 4.2	8.7	69.6	21.7	↓	▲ 13.0
雇用者	20.1	60.6	19.3	0.8	18.1	61.2	20.7	↓	▲ 2.6	10.2	14.9	79.3	5.8	↑	9.1
福井地区	17.0	60.0	23.0	▲ 6.0	14.5	64.5	21.1	↓	▲ 6.6	11.5	15.0	81.7	3.3	↑	11.7
坂井地区	22.7	61.4	15.9	6.8	20.6	55.9	23.5	↓	▲ 2.9	18.2	20.6	76.5	2.9	↑	17.7
丹南地区	22.5	63.8	13.8	8.7	20.0	58.8	21.2	↓	▲ 1.2	10.0	12.9	76.5	10.6	↑	2.3
奥越地区	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	83.3	16.7	↓	▲ 16.7	▲ 18.2	0.0	66.7	33.3	↓	▲ 33.3
嶺南地区	25.4	54.0	20.6	4.8	24.2	57.6	18.2	↑	6.0	6.4	15.4	80.0	4.6	↑	10.8
資金繰り	12.1	80.2	7.7	4.4	15.7	77.1	7.2	↑	8.5	0.3	12.5	79.7	7.8	↓	4.7
福井地区	13.9	78.9	7.2	6.7	16.8	77.4	5.8	↑	11.0	1.8	14.8	79.4	5.8	↓	9.0
坂井地区	23.3	72.1	4.7	18.6	27.3	69.7	3.0	↑	24.3	14.0	21.2	69.7	9.1	↓	12.1
丹南地区	3.8	90.0	6.3	▲ 2.5	11.8	77.6	10.6	↑	1.2	▲ 7.5	8.3	81.0	10.7	↓	▲ 2.4
奥越地区	9.1	63.6	27.3	▲ 18.2	33.3	66.7	0.0	↑	33.3	▲ 18.2	16.7	83.3	0.0	↓	16.7
嶺南地区	11.1	79.4	9.5	1.6	10.6	80.3	9.1	↓	1.5	0.0	7.6	83.3	9.1	↓	▲ 1.5

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ①

業種	自由意見
製造業	新幹線関係や駅前再開発関係の特需があるものの、それが終わった後、今の状態を維持できるかという懸念がある。
製造業	日本国内のアパレル業の回復が大きく望めない。海外販売（特に中国市場）を更に強化予定。
製造業	ニューノーマル時代と言われるように、コロナ前の70%の回復しか見込めない気がする。その体制を再構築する必要性を感じる。
製造業	原油高騰による原材料価格の上昇、労働力不足等、製品の原価上昇による価格転嫁が出来ない。社員の待遇（賃金アップ）改善の環境を望む（法人税減税、所得税減税）。企業努力も限界である…中小企業。
製造業	売上増加せず。
製造業	大規模企業の内部留保と経済活動の行い方を平準化するような法的、政治的規制が必要。中小零細では越え難い波が来ていると感じている。
製造業	新型コロナウィルスの影響による先行き不透明感が強く、思い切った戦略に踏み出せない。
製造業	日本では新型コロナウイルスワクチン接種率が上がり、新規感染者数が減少傾向になり、リベンジ消費により、経済活動が回復するかと思うなか、新たなウイルス変異株が見つかり、再び経済活動が停滞する可能性も感じられる。また、原油高等による原材料高騰や半導体関連部品不足による消費や経済に与える影響を見据えて、今後の当社業況に繋げていきたい。
製造業	建設業の完全週休2日制への移行を望む。
製造業	コロナ、原油高による原料高で収益を圧迫しています。
製造業	原材料費の値上げと安定供給に不安あり。
製造業	車両関係は少し生産調整に入っているが、いつまでなのかわからない。
製造業	原材料（スリミ、包装資材）の高騰、油、燃料費等値上がりが収益を圧迫している。
製造業	需要の減少が続いていたが、少しづつ回復しているように思う。
建設業	高圧ケーブル等、受注がストップし始めた商品もあり、困っております。これが長く続くようだと、工事もストップしてしまうと思われます。
建設業	当社は下請け工事が主ですが、元請企業が落札できず、最悪の状況となっているのが現状です。当面は当社元請工事を主としていますが、主となる橋梁工事がないのは不安でもあります。
建設業	コロナが要因の多面にわたる負の財産（公共）が及ぼす影響の度合いが読めない。
建設業	感染症が下火となれば、景況感上向き。新型株の広がり方次第では、世界的な景気低迷。
建設業	公共事業の発注はそこそこあるが、競争の激化でなかなか契約が取れていない。中小の業者は厳しい状況が続いている。
建設業	特別工事（新幹線関連）が終了し、レッカー3台の工事、新分野への進出、得意分野への特化、営業の強化、いろいろありますが新しい「すき間」の工事を見つけ、県外へもコロナで行けなかったが、出ていくつもりです。当社は金沢からの工事でバブルの様でしたので、しばらく地味にコツコツやっていこうと思います。
建設業	現状では今期についても減収減益となる見込み。しかしながら来期以降については、受注も見えてきており、増収増益に転じるとの予想である。従業員の高齢化が課題、人材確保が重要と考える。
建設業	同業他社ができない新規事業への進出により、今までゼネコン、地場コンだけが客だったのが、仲卸商社や、同業他社からの工事・加工・運搬を受注することにより、オリンピック後、また、まだまだ先の見えないコロナ禍の状況の中を生き抜いていきます。
建設業	コロナ禍の下、2年以上景気に明るさが見えない。明日は今よりもきっと良くなる。そう信じて頑張るしかない。
建設業	コロナ後の動向が不透明。国土強靭化の勢いは健在だが、追加事業の見通しが立たない。
建設業	材料費等の上昇が受注価格に転嫁出来ないことや、材料不足があり、次年度の見通しは不透明なものとなっている。
建設業	新幹線工事終了したために骨材の売上が減少し、値崩れが見られる。土木工事の施工コストが燃料の値上がりで原価高になっている。
建設業	コロナ対策で国や地方自治体の財政支出が多くて、公共事業への予算が少なくなると考えている。全体の受注額が減少することは確実である。
建設業	景気動向は非常に難しい問題で、我々地元の建築屋は、一軒の受注を目指して頑張っているので、受注に伴う融資、ぜひ迅速にお願いしたいと思っております。来年の景気動向は良い方向に向かっていく感じが致します。
各種サービス業	オミクロン株次第で日本経済は崩壊の恐れがある。日本政府は今頃水際対策を訳の分からないことを言っているが、もうとっくにオミクロン株は日本に存在する。外国人を多数受け入れたツケが回ってきただけのことだが…
各種サービス業	報道のコロナ騒動に民心の関心がとられて、上下変動が激しすぎる。こんな事では、時流の本流を見落としてしまいそうになるが、しばらくは仕方がないのか？

最近の業況や景気動向に関する主な意見　②

業種	自由意見
各種サービス業	10~11月来客は回復していると感じる。消費金額は決して増えていない。今後、グングン高騰などの影響が出るのではないかと思う。
各種サービス業	新型コロナウィルス感染の状況次第であり、今後とも、不安がある。コロナ、重油等値上がりについては、経営努力しても、どうにもならない。
各種サービス業	自社で売上を作れないので非常に苦しい。
各種サービス業	コロナ禍の長期化の影響大。契約輸送は常に安定しているが、貸切バス部門の落込みが業況好転しない最大要因。
各種サービス業	コロナの感染が落ち着いているが、まだまだお客様の需要は戻っていない現状です。雇用調整金が3月まで延びましたが、まだまだ厳しいです。しかし、車両更新は行っていきたいと思います。
各種サービス業	燃料の高騰に懸念
各種サービス業	来年3月以降は全体的によくなると思う。しかし、ガソリン価格の上昇のため、設備や資材関係が上昇して2割から3割の上昇の心配がある。販売や生産性を上げる商品を考えているが、拡充する経費は最小で計画している。
各種サービス業	来春に向けて、福井営業所の移転とバス事業、旅行業のスタート準備を進めて参ります。おかげさまで乗務員を含めた新規スタッフの確保等も順調に進んでおり、2年余りに迫った新幹線延伸を視野に着々と展開できております。
各種サービス業	仕事が増えよい傾向にあると感じるが、仕事が増えた事に対しての従業員との温度差を感じます。
各種サービス業	10月から改善している
各種サービス業	コロナ禍が一旦落ち着き、貸切バスの予約も回復してきたが、オミクロン株の蔓延が拡大すると、せっかくの回復の流れが止まってしまう恐れがある。
各種サービス業	コロナ感染症の影響が非常に大きく、企業の自助努力で対応できる範囲を超えている。
各種サービス業	福井港に関しては、骨材スラグ、風車部品、アルミスラブ等の貨物が増加している。期初は悲観的な予想をしていたが、思ったより経済は回っていると考え改めさせられた。既存貨物のアルミ地金も好調で、世の中が良い方向に向かっていると思われる。
各種サービス業	仕入（軽油やタイヤ）の価格や車両の維持費が過去に比べ、かなり上昇しているにも関わらず、運賃の値上げがあまり実現出来ていない。経費削減にも限界がある。
卸・小売業	少々ながら市況が明るくなってきたようだ。
卸・小売業	ドラッグストアーの県外資本のコスモス、ウェルシアなど新規出店が止まらない。ウェルシアはマックスバリューを併設して出店してきており、ドラッグストアーの生鮮食品の取扱いが増え、従来からの食品スーパーは苦戦している。
卸・小売業	新車生産の遅れによる売上の減少、また、中古車の高騰による販売活動の低下が始まっている。すべて、半導体不足、コロナ関係の影響なので、まだ１年程続くと言われており、非常にやりにくい状況である。
卸・小売業	１～３月はやや上向き傾向だが、４～６月が不透明です。
卸・小売業	コロナ感染者が減少し、クーポンなどの支援でありがたいが、今後、お客様が慣れてきた時、クーポンなどの支援がなくなった時の反動が恐い。今からそういったことも考えながら、過剰にならないように注意していきたい。
卸・小売業	オミクロン株で今後の経済も予測不能で不安あり！
卸・小売業	生コン出荷の激減から、供給体制の構築及び価格の維持に努め、組合の共存共栄を図りたく考えています。
卸・小売業	コロナでまったく先が読めない。
卸・小売業	卸売業として原材料の品薄による高騰を販売価格に転嫁しにくい時期が続くので、収益性が悪化する時期。
卸・小売業	メーカー、仕入れ業者から、すべての価格上昇
情報通信業	新型コロナの影響が続いている。
不動産業	リクルート。戦略ありきの風土づくり
不動産業	賃貸人の高齢化にて、賃料の不払いや物件の今後の処理が課題となりそうです。